

音 楽

4 研究の実践

(1) 実践例 1 (A 中学校)

ア 開設までの手順

(ア) 第 2 学年における開設教科 (コース) 及び授業時数

- 教科名…音楽, 美術, 技術・家庭, 保健体育 (4 教科)
- コース数…6 コース (音楽, 美術, 技術, 家庭, 体育男子, 体育女子)
- 授業時数…35 時間

(イ) 第 3 学年における開設教科 (コース) 及び授業時数

※週 2 時間の選択教科の時間を, 数学・社会コースと技能コースに分割

教科名	数 学			社 会		
コース	計 算	図 形	応 用	地 理	歴 史	総 合
教科名	音 楽		美 術	技 術・家 庭		保 健 体 育
コース	器 楽	声 楽	美 術	技 術	家 庭	体育男子 体育女子

※数学・社会コースは前期と後期に分けて実施。前期に数学を選択した生徒は後期には社会を選択する。

- 教科数及びコース数…2 教科 6 コース・4 教科 7 コース 合計 6 教科 13 コース
- 授業時数…70 時間

(ウ) 選択教科の設定の方法

教科担当者の配分等を十分検討し, 開設教科及びコースを設定。

(エ) 生徒に対する開設教科の説明会の持ち方・方法

新年度よりスムーズなスタートができるように, 前年度 (2 月末) に 1 年, 2 年合同の学年集会を持ち, 各教科コース担当教諭より内容について説明し, その後, 希望調査を実施。年度中に調整し決定。

(オ) 選択教科の生徒希望調査と決定

a 希望調査の方法

アンケート方式で技能教科は第 3 希望まで記入。数学・社会は教科とコースを記入。

b 希望選択教科の決定

数学・社会コースは, 個人の意志を尊重しながら, 各コースとも均等になるように調整。技能教科は第 1 希望を優先させながら, ある程度均等になるよう調整。

イ 第2学年選択教科「音楽」

(ア) 年間指導計画

生徒たちは日常接している音楽の中で、ギターに対しては特に強い関心をもっている。そのギターを教材として取り上げ、簡単な楽曲の演奏をしていく中で、必修音楽ではあまり多くの時間を取ることができない和声に対する理解を深めるとともに、旋律との関係を実感的にとらえさせていくことができるのではと考えた。また、創作オルゴールを用い、ギター学習において習得した旋律と和声の関係を生かし、簡易な伴奏の創作活動及び、記譜の学習にまで発展させていきたいと考え、年間指導計画（資料1）を作成した。

資料1 選択教科「音楽」年間指導計画

【選択教科「音楽」】 第2学年 年間指導計画 (器楽コース)					評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	音楽的な感受と表現の工夫					表現の技能		鑑賞の能力		時 数	
						進んで表現する態度 音楽に対する関心	旋律をつくる意欲 技術を習得しようとする意欲	旋律と和声のかかわり 旋律に対する伴奏の創作	楽器の奏法や表現の特徴 主旋律と他の旋律のかかわり	フレーズによる曲のまとまり 即興的なリズムの表現	全体の響きに調和した表現 即興的なリズムの表現	楽器の取り扱いと奏法 美しい音色の表現	楽器の演奏 美しい音色の表現	音楽の諸要素の働き ギターの音色やコードの聴取	音楽のよさや美しさの聴取 ギターの音色やコードの聴取		音楽のよさや美しさの聴取 ギターの音色やコードの聴取
ギ タ ー に 親 し む う	・ギターの基本的な取り扱いができる。	・ギターの弦の張り方や調弦の方法を練習する。	・二人一組の班をやることにより、個人差が出ないようにする。	・ギター	○	○						○	○	○		2	
	・ギターのもつ音色や特色を生かしながら、基本的な奏法を身に付けることができる。	・指使いを確認しながら音階が確実に演奏できるよう協力して練習する。	・姿勢や指の押さえ方について助言し、響きのある音色が出せるよう工夫させる。	・ピック ・歌集	○	○	○					○	○	○	○	3	
		・簡単な旋律を選び、練習をする。	・後の活動のことも考え、基本的なコードで演奏できる旋律を選ぶよう助言する。(コード: C, G, F, D 等)		○	○	○		○			○	○	○		2	
	・基本的なコードを演奏することができる。	・基本的なコードが演奏できるよう練習する。	・模範演奏により、響きを実感的につかませる。				○	○		○	○	○	○	○	○	○	4
		・コードの意味とその構成を理解し、曲想に合った伴奏を工夫する。	・オルゴールで演奏する事も考えて工夫するように助言する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
旋 律 に オ リ ジ ナ ル の 伴 奏 を 付 け る	・自分の好きな曲にオリジナルの伴奏を付けることができる。	・楽曲を選び、コードの確認をする。	・なるべく基本的なコードで構成された楽曲を選ぶよう助言する。	・ギター ・歌集	○	○	○	○	○				○			2	
		・曲想に合った伴奏をギターを使いながら工夫する。	・オルゴールの響きを考慮して工夫するよう助言する。	・オルゴール		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	
		・伴奏を記譜する。	・音域を考慮して記譜するよう助言する。			○	○	○	○	○			○			2	
		・伴奏をオルゴール用のパンチカードに打ち込む。	・正確な場所に打ち込むよう助言する。				○	○								4	
		・発表会をし、お互いの作品を聴き合う。	・お互いの工夫点を認め合うよう助言する。			○	○						○	○	○	○	2

音 楽

(4) 学習指導案

第2学年選択教科「音楽」（器楽コース）学習指導案

- 1 題 材 ギターに親しもう
2 目 標

達成目標	評価の観点			
	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受と表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
・ 美しい音色に興味をもち、美しい音を出そうとする。	◎	○	○	○
・ 曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫することができる。		◎	○	
・ 美しい音の出し方や基本的な奏法を身に付けることができる。		○	◎	
・ 合奏する喜びを味わい、楽しんで活動することができる。	◎		○	○

3 指導計画

時	活動内容
1～2	・ オリエンテーション1 ・ ギターの基礎的な知識と扱い方
3～7	・ 基本的な奏法の習得1（音階の習得と簡単な旋律奏）
8～⑭～18	・ 基本的な奏法の習得2（基本的なコードの習得と簡単な伴奏）
19	・ オリエンテーション2
20～33	・ 旋律にオリジナルの伴奏を付けてオルゴールで演奏
34～35	・ 発表会 ・ 反省

4 指導に当たって

選択教科「音楽」は、合唱を中心とした活動のクラスと、器楽（主にギター）を中心とした活動のクラスの二つを開設し、希望者をアンケートにより次のように振り分け実施している。

- 合唱コース……女子34人
- 器楽コース……男子9人、女子11人、合計20人

器楽コースの学習者の中でさらに希望調査を実施したところ、大半の生徒がギターの学習を希望したため、その基本的な奏法の学習と簡単な合奏を中心に学習計画を作成した。現在本校にはギターが13台しかないため、二人に1台を割り当て、協力し合って技術を習得するような方法を取っている。

技術的に特出した生徒もなく、全員が同じレベルでスタートしているので、個人差が出ないようにお互いにカバーし合いながら活動させるとともに、一人一人に明確な学習課題を持たせ、意欲的に取り組ませたい。また、協力しながら一つの音楽をつくり上げる楽しさを味わうことによって、さらに幅広い音楽活動ができるようにさせたい。

5 本時の指導

(1) 目 標

- ・ 協力し合いながら楽しく活動し、コードにより楽曲の簡単なギター伴奏をすることができる。

(2) 準備・資料 ギター、楽譜、譜面台

(3) 展 開

学 習 内 容 ・ 活 動	教 師 の 働 き かけ ・ 評 価 (評)
<p>1 ギターのチューニングをする。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>協力して簡単なコードを練習し、曲の伴奏をしよう。</p> </div> <p>3 教師の模範奏を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本コード C, G, F (又はD) <p>4 ペアに分かれ、コードの押さえ方や伴奏の仕方について話し合いながら練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しいコードの押さえ方 (指使い) ○ リズム (右手の使い方) ○ 音色 ○ テンポ <p>5 本時の学習のまとめと反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ生徒に任せて、自力で調弦できるようにさせたい。 ・ 前時から引き続いての学習課題なので、前時の活動を振り返ることにより、明確な目標を設定し、意欲付けをしたい。 ・ 一つずつのコードをゆっくりと数回繰り返したり、コードをつないで伴奏の例を示したりしながら、響きをつかませる。 ・ 押さえ方のポイントを個別に助言する。 ・ 指の力が弱い生徒には、こもった音色にならないように支援する。 ・ コードからコードへの移動がスムーズにできれば、正しいテンポも保てることに気付かせたい。 <p>評 協力しながら楽しく活動することができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数組のペアの発表により、本時の成果を見させたい。よかった点を大いに賞賛し、自信をもたせたい。 <p>評 コードからコードへの移動がスムーズにできるようになったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアごとに本時の学習について話し合うことにより、次の学習への手がかりをつかませる。

音 楽

(ウ) 評価計画表

第2学年 選択教科「音楽」(器楽コース) 評価計画

(A:十分満足できる B:おおむね満足できる)

配 当 時 間	観点別目標	音楽への関心・意欲・態度		音楽的な感受や表現の工夫		表現の技能		鑑賞の能力	
		A	B	A	B	A	B	A	B
		指導目標		A	B	A	B	A	B
2	ギターの基本的な取り扱いができる。	進んで適切なギターの取り扱い方を身に付けようとする。	ペアで協力してギターの取り扱い方を身に付けようとする。			弦を張り、自力で音の高低を判断し、調弦することができる。	弦を張り、チューナーによって音の高低を判断し、調弦することができる。		
3	ギターの持つ音色や特色を生かしながら、基本的な奏法を身に付けることができる。	積極的に練習方法を工夫しながら技術を身に付けようとする。	協力して技術を身に付けようとする。			響きのある音色で演奏することができる。	右手と左手のバランスを取って演奏することができる。	音程が正しく、響きのある音を聴き取ることができる。	音程が正しい音を聴き分けることができる。
2	簡単な楽曲の旋律を演奏することができる。	自ら好きな曲を選び、根気強く練習しようとする。	好きな曲を選び、進んで練習しようとする。	フレーズを考えて演奏することができる。	旋律の流れがとぎれることなく演奏することができる。	スムーズに演奏することができる。	正しいポジションで弦を押さえることができる。		
11	基本的なコードを演奏することができる。	積極的に新しいコードを身に付けようとする。	基本的なコードを身に付けようとする。	コードの流れを感じて演奏することができる。	コードの響きを感じて演奏することができる。	コードからコードへの移動がスムーズにできる。	コードのポジションを押さえることができる。	コードの流れとフレーズを聴き取ることができる。	コードの流れを感じ取ることができる。
17	自分の好きな楽曲にオリジナルの伴奏を付けることができる。	好きな曲にふさわしい伴奏を創作しようとする。	好きな曲を選び、伴奏を創作しようとする。	曲想に合った伴奏をギターを使いながら工夫することができる。	ギターを使った伴奏を工夫することができる。	工夫した伴奏を、音域を考えて楽器にすることができる。	協力して伴奏を楽器にすることができる。	旋律に合った和声を感じ取ることができる。	旋律に合った和声を感じ取ることができる。

(エ) 評価補助簿

2年選択教科「音楽」(器楽コース)

評価補助簿

評価の観点		関心・意欲・態度	音楽的な感受と表現の工夫					表現の技能		鑑賞の能力		総 点								
《活動内容》		進んで表現する態度	音楽に対する関心	楽曲の雰囲気や曲想への関心	旋律をつくる意欲	技術を習得しようとする意欲	旋律に対する伴奏の創作	旋律と和声のかかわり	楽器の奏法や表現の特徴	主旋律と他の旋律のかかわり	フレーズによる曲のまとまり		即興的なリズムの表現	全体の響きに調和した表現	楽器の演奏	美しい音色の表現	楽器の取り扱いと奏法	音楽の諸要素の働き	ギターの音色やコードの聴取	音楽のよさや美しさの聴取
No.	生徒氏名																			
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				

(オ) 評価カード

2年 氏名		テーマ					今日の課題	
カード		簡単なコードをおぼえる						
月日	学習内容をしっかりと持つことができた。	協力して課題に取り組むことができた。	曲想を生かした演奏を工夫する事ができた。	練習方法の工夫ができた。	目標を達成することができた。	総合評価	今日の課題	
6月2日	A	A	/	B	B	B	Cのコード	
6月28日	A	A	/	A	B	A	C.Gのコード	
7月5日	A	A	/	A	B	A	D.Gのコード	
7月12日	A	A	C	B	B	B	C.G.Dのコード	
7月18日	A	A	C	A	B	B	Fのコード	
月日								
月日								
月日								
(感想・反省) Fのコードがとてまよひがたかった。指が痛くてこまった。								
(先生から) 上達するたぬにほくり返し練習するのかわりに								
A: とてもよい B: よい C: あまりよくない D: よくない								

カードにパンチで穴をあける



創作オルゴールの演奏

